

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	官民連携事業による下水道未普及解消 重点計画											
計画の期間	平成 31 年度 ~ 令和 05 年度 (5年間)											重点配分対象の該当 <input checked="" type="checkbox"/>
交付対象	伊豆の国市											
計画の目標	下水道未普及地域の整備をおこなうことで、公共用水域の水質保全と快適な暮らしを実現し、良好な生活環境を創造する。											
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）	2,046	A	2,046	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C + D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			定量的指標の現況値及び目標値		
	定量的指標の定義及び算定式			当初現況値	中間目標値	最終目標値
	(R1当初)	(R3末)	(R5末)			
1	令和8年度の概成（汚水処理人口普及率95%以上）に向け、官民連携事業による下水道整備を進め、公共下水道処理人口普及率を68.7%から72.4%に増加する。 令和8年度の概成（汚水処理人口普及率95%以上）に向け、官民連携事業による下水道整備を進め、公共下水道処理人口普及率を68.7%から72.4%に増加する。 下水道処理人口普及率（%） = (処理区域の人口(人)) / (行政人口：住民基本台帳(人))	68%	71%	72%		

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靭化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 担当課にて評価後、それを原案として外部有識者（当該事業モニタリング業務請負業者）に意見聴取を実施	事後評価の実施時期 令和7年3月
事業効果の発現状況	
定量的指標に関する 交付対象事業の効果の発現状況	目標達成とはならなかったが、着実に下水道未普及地域の整備を進め、公共用水域の水質保全と市民の快適な暮らしに貢献した
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	第2期事業への継続的な事業推進に寄与
特記事項（今後の方針等）	

案件番号：

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	72%	官民連携事業に不慣れなため当初の実施に手間取ったことや資材単価の急騰により予定事業費内での事業実施が困難となり整備予定範囲の縮小を余儀なくされた等の理由により、進捗に遅れが生じた
	最終実績値	69%	